

徳川家康の霊言

担当:石田昭 2015年4月23日

- 1 君らは明治維新ばかり言っている。明治維新は『徳川幕府を倒す運動』だった。徳川二百数十年は肯定評価なのか、否定評価なのか、否定なら私は大悪人の元締めになる。
- 2 単一国家としての同一性を持った国民性ができたのは、江戸時代があったから。「チャイナ」との積極的なかわりを抑えたことをどのように評価するか。鎖国の意味・効果
- 3 自分は、「短期で滅びない武士の世」を築いた。武士政権は質実剛健でなければ続かないし、対外的には“窓口”を絞って日本の実態戦力が分からないようにした。長崎の出島など
- 4 アメリカとの“へその緒”が切れたら、日本は滅びる。米ソの冷戦中にアメリカを助ける名目でもう一段強い“独立国家に作り替える”ことは可能であった。この二十年間の遅れは致命的なものだ。吉田茂の経済優先政策がアメリカへの属国意識を生んでしまった。
- 5 日米は中国を経済的に支援して豊かな国家にしてやった、しかし中国は本性を出してきて軍事大国を目指している。日米の政治家に先見性がなかった。西鋭夫スタンフォード大教授
- 6 日本は、守りに入って時間を稼ぎ、その間に国内を充実させ、中国の体制崩壊を待つべし。「中国依存型」の経済になっているところは、国策としてリスク分散していくように奨励したほうがよい。習近平に擦り寄って、HSU不認可を「お土産」に決めた安倍政権への危機。
- 7 中国の方が人口が多いから、アメリカが中国を取る可能性もある。「米中同盟」が結ばれたら、日本は本当に危機となる。そのためにも「防人国債」による国家防衛意識の醸成が大切。
- 8 アメリカの衰退に歯止めはかからない。そのアメリカから見たら日本はわがままに見える。米国への感謝なし、守るのは当然、と思っている。「原爆を二個投下した“原罪”により、日本防衛の義務が戦後六十年も続いてしまった」という認識がある。どこかで嫌になってくるポイントがあるかもしれない。米国への反省を求める流れは微妙な問題、中道を要す。
- 9 日本は、戦後の繁栄を享受しすぎたために、大胆な政治改革ができない。「地方分権」は国を複数に割られる危険性があるので、気をつけるべし。沖縄の姿勢にアメリカはいつか嫌気。聖徳太子の予言：「都が東へ遷る、それから200年後、クハンダがくるためにその都は分裂。」
- 10 「権威」と「権力」を分けて秩序の安定を図るのは日本の伝統文化（朝廷と幕府等）。幕府も長子相続制で秩序の安定を図った。つまり、「権威」の部分の将軍職は血のつながり、「権力」の方は能力ある人物の抜擢。二百六十年の江戸幕府は一種の芸術である。
- 11 幸福実現党としても、将来、政権を安定的に発展させる布石として、“統治の学”が必要である。鎌倉幕府が「貞観政要」を学び、モデルにしたことを知り、学問を奨励した。
- 12 江戸期は江戸に『政権』があり、京都に『権威』があった。王政復古で一緒になった。最初は良かったが、第二次大戦への道は止められなかった。「国家神道」は宗教にあらず、習俗である、として一神教（現人神）のようなものを立てようとした。こうした“悪いこと”を伊藤博文あたりが考えた。これが第二次大戦にまでつながっている。責任者不在体制
- 13 天皇は京都御所に帰っていただく方がよい。東京は幕府があるべきところ。明治維新の前の体制に戻しても構わない。聖徳太子霊指導の「新・日本国憲法試案」は大統領制を前提としている。最近「明治維新は誤りだった」（原田伊織）という動きもある。司馬史観は勝者の史観。
- 14 私は「国を安定させよう」という思いで、「秀吉の申し込み」を呑み、時間を待った。秀吉には戦で負けてはいない。戦国の世を終わらせるために“忍耐”を選択したのだろう。
- 15 咲也加氏との縁は？なんだか汗が出てくる、何でだろう？小説を読めば分かる、必ずしも幸福ではなかったかも。生母於大の方か？転生は「最終ミッション」と関係があり、タブー。